

日本建築学会北海道支部 2012 年度第 4 回支部役員会 議事録

記録：森

日時：2013 年 3 月 11 日（月）18：30-20：00

場所：北海道建設会館建築学会支部事務所

出席者、岡田、安藤、海藤、小谷、佐伯、最上、森、大谷、斉藤、前田、渡邊、星野、
駒木、小澤、佐藤

事務局：菊地

次回 4/24(水)17:30 -幹事会, 18:30 -常議員会

資料 4-1：日本建築学会北海道支部 2012 年度第 3 回支部役員会議事録案

資料 4-2：2013 年 1 月理事会報告

資料 4-3：支部経理報告及び 2012 年度決算見込みについて

資料 4-4：2012 年度道内工業高校巡回講演会

資料 4-5：北海道建築設計会議第 101 回幹事会議事録

資料 4-6：2012 年度第 4 回学術委員会

資料 4-7：「AIJ 大会」タスクフォースについて

資料 4-8：北海道支部選挙管理委員会委員（案）

資料 4-9-1：日本建築学会北海道支部技術賞

資料 4-9-2：日本建築学会北海道支部技術賞（案，草稿）

資料 4-10：AIJ 北海道支部功労賞の表彰計画（案）

1、前回常議員会議事録

資料 4-1 に基づき、安藤委員より前回議事録の説明がなされ軽微な修正の後、承認された。

2、本部理事会報告

岡田支部長より、資料 4-2 に基づき説明がなされた。

3、支部経理報告および 2012 年度決算見込みについて

小澤総務委員長より資料 4-3 に基づき説明がなされた。

総務としては大会で余剰金をつくり、それを 10 年間かけて取り崩すかたちで実施している。次回大会が予算、支出がバランスしてしまうと赤字が発生する可能性がある。当初は大会で約 400 万円の剰余金を出す予定であったが、現実的には 200 万円も厳しい状況である。今後、支部の運営資金に関して検討が必要であることが議論された。

4、道内工業高校巡回講演会

佐伯委員より資料4-4に基づき報告がなされた。両テーマとも高度な内容をわかりやすく説明していただき高校生には非常に好評であったとの報告があった。

5、北海道設計会議報告

資料4-5に基づき説明があった。建築学会大会、JIAの札幌開催大会に便乗して地下歩行空間で各団体がPR等のパネル展示、相談窓口等できないか検討中である旨が報告された。関連して、佐藤委員がJIAと上記に関して議論した内容について報告された。現状、建築学会としてはパネルを作る予算を計上していない。したがって、パネル展示としてはポスター程度である旨をJIA報告してある。建築学会としてはポスターの提供（スチレンボード裏打ち程度）を実施する。また、記念シンポジウムを地下歩行空間で実施することでイベントを盛り上げる方針であることが報告された。

6、学術委員会報告

資料4-6に基づき佐藤学術委員長より説明がなされた。工業高校の巡回講演会について、構造分野の講演会がなかなか担当にならない旨が報告された。一案として、年度ごとに分野別（構造、環境、計画・・・等）で提供するアイデア等が紹介され、工業高校側でこのアイデアが受け入れられるかどうか検討し、次回、又は次回の委員会で報告することが確認された。

資料4-6の5)は、2013年度文化週間企画→道内工業高校巡回講演会企画

7、AIJ大会タスクフォースの立ち上げについて

岡田支部長より資料4-7について説明がなされた。北海道からは支部推薦委員として北海道大学、羽山広文先生が参加している。

《審議・承認事項》

8、後援依頼について（5件）

審議の結果、承認された。

9、支部選挙管理委員について

岡田支部長より資料4-8（選挙管理委員会委員（案））に基づき説明がなされた。

委員については了承され、会議後に日程を決定することになった。（4/8、18:00-）

10、北海道支部技術賞について

佐藤学術委員長より、資料4-9-1、資料4-9-2に基づき選考委員会の議論の経過について説明がなされた。本年度は三件の応募があったため、まず、2/27に専門選考部会を開催し、追加の質問事項を各候補に送付し、それを資料として再び専門選考部会で議論した。その後、学術委員会（3/7）内に設置された選考委員会にて挙手にて受賞（案）を決定した。ただし、この議論のなかでは受賞決定の手続きについて今後検討する必要がある旨が議論された。

また、草案に関して駒木委員より数か所の軽微な修正提案があり、佐藤委員長と

駒木委員でチェックすることになった。以上の議論の後、受賞案は承認された。

1 2、北海道支部功労賞について

小澤総務委員長より資料4-10に基づき説明がなされ、審議の結果、計画案が了承された。功労賞の規定は賛助会員として10年以上であるが、賞の設立当時は10年以上の賛助会員が多かったため30年としている。

1 3、環境工学・北方系住宅専門委員会主催見学会について

斉藤委員より説明がなされた。昨日(3/10)の実施であったため、暴風雪により中止(年度内の開催はない)となった。

1 4、2013年度全国大会について

実行委員会を立ち上げて順調に実施中である旨が岡田支部長より報告された。4月には表敬訪問先を決定する必要があるので推薦等、お手伝いを頂く可能性がある旨が報告された。

後援依頼内容

以下の5件に関して後援が承認された。

- 1.旭川まちなみデザイン推進委員会より「第23回旭川建築作品発表会」
- 2.(社)北海道建築士会より「すべての建築士のための総合研修」
- 3.(社)空気調和・衛生工学会北海道支部より
「地区講演会“環境建築の実現に向けて”
- 4.NPO法人 パッシブシステム研究会より「市民セミナー」
- 5.支部環境工学専門委員会より「EGGs'12 第7回環境工学系・卒業論文発表会」